新潟市議会だより

新潟市議会議員 江南区選出

くしだ 2017年



>11

成二十九年八月 新潟市議会議員

新潟市では健康長寿の延伸に 取り組みを始めました。田坂氏 の主張は真に健康寿命の延伸の がックボーンになる事は間違い ないようです。 市長自ら各区のタウンミー ティングで、健康診断の受診率 の向上と食物摂取での減塩の取 り組み強化を訴えています。 加えて、還暦を過ぎ、完成された人間として、人生の質を高 かる取り組みが必要ではないで しょうか。家業はもとより、ボランティア活動や援農・地域活 動等々、経歴や趣味を生かした、 日々充実した生活を送る事が、 健康寿命の延伸に繋がるのでは ないでしょうか。 り のましょう。
別替え人生の密度
第二の人生を本格的
のでしょうか。 ルな人工 質

では、大って、とって、とって、 ます。ます。 す。六十 めり、六十二 の季節も終わり、夏まつべ、トも大方終了し、おえるばかりとなりました。した。亡くなられた方々した。亡くなられた方々した。亡くなられた方々した。亡くなられた方々した。亡くなられた方々に、お悔やみつ・ソフィアバンク」の代中坂広志氏の講演を聞く機中坂広志氏の講演を聞く機中坂広志氏の講演を聞く機中坂広志氏の講演を聞く機中坂広志氏の講演を聞く機中坂広志氏の講演を聞く機中坂広志氏の講演を聞く、十才までは、修行の身で大十才からだ」と言いまた十才からだ」と言いまた。一人に「しょうない。 ガが決める」と主張L 次める」「人生の密度 (そして「人生の長 本格的な人は、嬉しいご を過ぎ、 になる事が になる事が になる事が 人生が始まるの人生が始まるの人生がおです。 IJ 長 $\widehat{\parallel}$ して さは、 0)

6月定例議会 一般質問一問一答〈平成29年6月22日〉

質問項目及び要旨

新潟市側の回答要旨

- (仮称) 江南駅の取り組みについて
- (1) 合併建設計画から江南区ビジョンに引き継がれたが、その 後の取り組み経過について
- (仮称)江南駅建設と新潟中央環状道路のJR信越線跨線 橋とのセット論について
- (3) 江南区長マニュフェストに盛り込まれたが、取り組みの具体 策は
- (仮称) 江南駅については、周辺の区画整理事業と合わせて旧横越町の重要事業として計画され、広 域合併時における合併建設計画に引き継がれました。その後、新潟中央環状道路との結節点であり、交 通施策上も有効であることから、江南区区ビジョンでも都市機能向上の観点で重要な取り組みとして位 置づけています。平成23年3月の市街化区域線引き見直し時は、市街化区域編入は見送られましたが、 運行本数の多いJR信越本線を活かした新駅設置と周辺開発は、江南区のさらなる発展につながるもので あることから、今後も、実現に向けた支援や助言を行っていきます。
- 平成34年度末の概成整備を目指して事業を推進しており、JR信越本線跨線橋部の二本木工区で東日 本旅客鉄道株式会社の協力を得ながら、道路と橋梁の詳細設計を本年度実施する予定です。今後、まち づくりの観点から新駅実現が具体化した際には、可能な限り効果的な整備となるよう新潟中央環状道路 を所管する土木部と連携を密にしながら進める必要があると認識しております。
- 「江南区まちづくり協議会」が本年5月に設置されました。協議会では今年2月に市長に対し提出され た「新潟市のまちづくりに関する江南区からの提案・要望」の実現に向け、その中で新駅構想実現の可能 性についての技術的な課題などを整理していきます。 【江南区長】





(仮称)江南駅建設と中央環状道路整備促進・完遂! 目指そう!

質問項目及び要旨

2. 30年産米の生産調整見直しについて

- (1) 県は、生産目標の市町村別内訳を示し、「参考値」として公表した。本市は、農家への個別生産目標「参考値」を通知するのか
- (2) 個別生産目標「参考値」の考え方と算出経緯について
- (3) 達成率予測はどうか
 - ・農林水産大臣より今迄の新潟市の減反達成率について指 摘された。
- (4) コシヒカリの米価維持は可能か。農家所得への影響はどう 考えているのか。
 - •正直者がばかを見たとの批判に対してどう釈明するのか
- (5) これまでの生産調整非協力者に対する補助制度の制限は 撤廃するのか

- (1) 県では「30年以降の米政策検討会議」を設置し、暫定的に「平成30年産の新潟米の県全体の生産目標の市町村別内訳」を示したところです。本市では、制度変更に伴う農家の不安が大きいことから、平成30年産以降当面の間、目指す方向へ向けた試行として農家個々に主食用米の生産目安の提示を行います。
- (2) 県から示された数量を区毎の経営面積に応じて割り当て、市の基準単収によって面積換算を行った上で、農家個々に主食用米の生産目標面積と数量の目安を示すことが合意されたところです。各農業再生協議会と農家への具



山本農水大臣に要請<農政議員連盟幹事長として>

体的な目安の提示方法や提示時期について協議を進めていきます。

【農林水産部長】

(3) 平成28年産では、転作達成率では81.5%でした。近年転作達成率は80%程度で推移していますが、平成30年 産以降も需要にあった生産に取り組んでいただきたい。

新潟市側の回答要旨

【農林水産部長】

- (4) 平成28年産の豊作による過剰感から価格が下落傾向にあり、家庭内消費需要のトレンドからコシヒカリの需要が毎年2%縮小すると想定して目標を設定しています。国の「水田活用直接支払交付金」や本市の「多様な米づくり推進事業費補助金」を活用した加工用米や米粉用米などへの取り組みを推進します。国の経営所得安定対策のナラシ対策への加入推進に取り組んでいきます。 【農林水産部長】
- (5) 補助事業の目的を達成するには、農業経営の基盤となる米価の維持が大きく影響するため生産調整達成者を要件としてきたところです。しかし、国の生産調整制度見直しにより30年産以降は生産調整の達成・未達成の概念はなくなります。 【農林水産部長】

3. 浄水場の放射能汚泥対策について

- (1) 8,000ベクレルパーキログラム以下の放射能汚泥の残存量は
- (2) 今後の搬出計画について

| 再質問 | : 搬出を決定してから3ヶ月が経過しているが

- (3) 8.000ベクレルパーキログラム超の放射能汚泥の残存量は
- (4) 今後の対策について
- (5) 阿賀野川浄水場周辺の住民勉強会から出された要望書の 受けとめは

- (1) 本年3月末現在で、青山浄水場で2,128m³、信濃川浄水場で2,172m³、信濃川取水場で1,719m³、戸頭 浄水場で1,408m³、巻浄水場で236m³、阿賀野川浄水場で1,619m³、満願寺浄水場で859m³、7施設合 計では1万141立方メートルとなっています。
 【水道事業管理者】
- (2) 今年度と来年度の2か年をかけて搬出処分する予定としており、現在は、年度内の搬出処分開始に向けて、作業スケジュール等の調整を進めています。

再答弁:できるだけ早く搬出を進めていきたい。

【水道事業管理者】

- (3) 本年3月末現在における保管量は、阿賀野川浄水場で373m³、満願寺浄水場で54m³、2施設の合計で427m³、となります。 【水道事業管理者】
- (4) 今年度も早期処分の実現に向け、国及び県に対して日本水道協会新潟県支部として要望書を提出しました。今後も引き続き関係機関への働きかけを積極的に行っていきます。なお、適正な保管管理や情報提供を行い、近隣住民の不安の軽減に努めていきます。【水道事業管理者】
- (5) 要望書で示されたご不安やお気持ちについては真摯に 受けとめ、引き続き、早期の処分開始に向けた取り組みを 全力で進めます。 【水道事業管理者】



阿賀野川浄水場の汚泥保管状況

4. 鳥獣被害の取り組みについて

- (1) 鳥獣被害の実態把握の現状は
- (2) 国定公園内農産物の鳥獣被害の取り組みは
- (3) 大型鳥獣被害の対応策は
- (4) 猟友会の要望書 (ライフル射撃訓練場設置) の対応について

(1) 平成28年度の有害鳥獣被害は、カラスやムクドリなどの鳥類による被害が8割以上を占め被害面積は440 ヘクタール、獣類ではタヌキやハクビシンによる被害が71ヘクタールとなっています。生活環境被害については、主にハクビシンが住宅に住み込む事例が平成28年度は174件でした。さらに、大型獣が本市にも出没するようになり、平成28年度には秋葉区においてツキノワグマの目撃・痕跡情報が21件ありました。

【農林水産部長】

- (2) 佐潟周辺は、国定公園内であり、また鳥獣保護管理法による鳥獣保護区に指定されているため、狩猟が禁止されています。しかし、農作物被害が発生した場合は、有害鳥獣捕獲の許可があれば、他の地域と同様に有害鳥獣の捕獲ができることから猟友会などへ捕獲を依頼し、対応することが可能です。 【農林水産部長】
- (3) 大型獣による被害は、幸い本市においてはありませんが、 ツキノワグマの目撃情報があった場合には、猟友会にパトロ ールを依頼するほか、警察等関係機関と連携し、地域住民 へ注意喚起を行っています。 【農林水産部長】
- (4) 猟友会からは、市内にライフル射撃場を設置したいとの要望をいただいています。射撃場の設置にあたって、農林水産省の「鳥獣被害防止総合対策交付金」を活用するためには、大型獣による農業被害が発生していないことから、本市が単独で国の交付金を活用し、射撃場を設置することはできません。このため、県と協議し、猟友会へは広域的な協議会の設置を検討するよう助言しています。



鳥獣被害発生の西区佐潟周辺

<u>再質問</u>:農林水産部と環境部での縦割行政の弊害が出ているのではないか

再答弁: 市単独ではなく、周辺市町村との広域的な協議会で対応していきたい。【市長】

【農林水産部長】

◆江南区の人口 69,184人/26,757世帯(うち男性33,575人・女性35,609人)

※平成29年5月末現在

編集 発行

新潟市議会議員・くしだ 修平 事務所

〒950-0202 新潟市江南区藤山1丁目385-2

TEL: 025-383-2288 FAX: 025-383-2289
Mail: kushida sh 0707@topaz.plala.or.ip